

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	BF-H102/ボンフロンパレ吹付・薄塗工法(アクリルフィラー)		
◇適用素地	軽量気泡コンクリートパネル		
◇使用材料	下地調整	ボン・アクリルフィラー	20.0 kg / 缶
	下塗	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	15.0 kg / 缶
	中塗	ボンフロンパレ中塗	15.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロンパレ主材	20.0 kg / 缶

工程		使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。					
1	下地調整	ボン・アクリルフィラー	清水 5 ~ 10 8 ~ 15	0.57 ~ 0.71 0.71 ~ 0.95	1	3h以上 7日以内	刷毛・ローラー モルタルガン口径4mm
2	下塗	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	清水 0 ~ 5	0.12 ~ 0.15 0.15 ~ 0.20	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	中塗	ボンフロンパレ中塗	清水 0 ~ 5	0.13 ~ 0.16 0.16 ~ 0.22	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗	ボンフロンパレ主材	清水 2 ~ 5	1.00 ~ 1.50	1	—	リシガン 口径5～6mm
合 計					4		

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) ボンフロンパレ主材の「標準所要量」については、塗膜の耐候性を満足する上での設定値となります。
尚、「意匠性・見え方」については、黒ゴマ含有の為、吹付量の変化に伴い、見え方が変化することは避けられないタイプであることから、使用にあたっては、事前塗装試験実施のもと、標準所要量の範囲内で吹付量を設定し、これを管理することをお願いいたします。

注3) 中塗は、上塗と同系色をご使用ください。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点《水性塗料》